

福島 11

発走 15:45

Table with columns for race numbers (16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1) and horse details including names, jockeys, trainers, and odds.

傾向では、6歳優勢。4月の福島で後続に3馬身差... 芝に戻った前走、久々に見せ場作った回マジュステイハーツの、乗り替わりで新味が出る可能性も。回マジュステイハーツは芝に転じて、④着、昇級で初重賞だが、

Table with columns for horse names (e.g., 小川昌志, 和田昌信, 藤田和也) and their performance statistics.

54なら勢いで通用しても、回マジュステイハーツも初重賞挑戦。連勝中の勢い注目。2走前には16に敗れたが、福島①②③着のコース巧者。

賞金 柏木 集保 小太曾大祐 神一 黒津 和之 黒津 郁子 松原 正行 本紙 飯田

芝2000

Table with columns for race numbers (4, 3, 2, 1) and horse details for the 2000m turf race.

大敗後でも適条件下で見直し。出走馬中1頭の4歳回マジュステイハーツは、前走小倉で4回アルパ... 57は他との比較で少し不利だが、初福島は問題ない。

芝2000 1.57.3 大井 57.51 須 25分 推定タイム 1.58秒 重 2.00秒

ベテラン勢の評価 過去にもこのレースを経験している馬は多い。トップハンデ4ダケは58は、134年5着... 友道師に着順の印象ほどは負けていないが、千六では結果が

本紙の見解 安定性上位のプリンス. シャイニープリンスは、同じ福島二千の前走民報杯を楽勝。遅めの流れを終始自分のペースを守り、残り1Fで後続を突き放した。新潟大賞典③着もメンバーを考えれば上々で、ハンデ据え置きなら好勝負。もっとも死角が少なく、安定性でリードと判断。右回りに戻るアルバートドック、復調気配のマジュステイハーツが相手。 [力接近]



グリーンチャンネル解説者

黒津 紳一 松原 正行
芝路線に転じて④③①
着と、6歳にして再び頭角を現してきた...

血が騒ぐ 山野浩一
帝王賞は珍しいレウスとなった。有力馬4頭はいずれもダート界での最強クラスだが...

競馬を進めれば①
和田郎師と中間は変わらず順調で状態は良い。この距離は合っていると思うし...

JRA中間発表 馬番連勝オッズ (午前10時現在)
Table with columns for race numbers and odds.

福島 16R シャイニープリンス

Table with columns for horse numbers, names, and odds for the 16R race.

芝路線に転じて④③①
着と、6歳にして再び頭角を現してきた...

12馬身の差をつけた。ダート競馬では1頭が大きな差をつけて勝つことは珍しくないが...

(古クォーターパルスヒーロー強めの内併入)
相手に合わせての併入。力強い走りでの力満点。【A】

口歓迎。展開の助けがあれば②
小西師にザギヤン(着なら)走前では芝に最も速く伸びた...

(古クォーターパルスヒーロー強めの内併入)
追はば伸びる余裕の手ごえ。素軽さと目立つ一頭。【B】

Table with columns for horse numbers, names, and odds for the 17R race.

スタップ予想
脚質
能力指数

④ マインセラNW
⑤ 26北Cダ助手
⑥ 30南BW助手
⑦ 3北Cダ助手
⑧ 6南BW助手

⑨ パーティンボロ
⑩ 15栗C重助手
⑪ 23栗坂藤
⑫ 29栗C重助手
⑬ 3栗坂助手

⑭ ステラウインド
⑮ ナカヤマナイト
⑯ シヤイニー南W
⑰ 15南BW助手
⑱ 22南BW助手
⑳ 29南BW助手
㉑ 6南BW助手

⑳ トップハンの成績(七夕賞)
18年メイショウカイドウ
19年サンバレンティン

⑳ トップハンの成績(七夕賞)
18年メイショウカイドウ
19年サンバレンティン

Table with columns for horse numbers, names, and odds for the 18R race.

スタップ予想
脚質
能力指数

Table with columns for horse numbers, names, and odds for the 19R race.

能力指数について
スタップ欄に1~100で表示してあります。...

☆通過順について
成績欄の通過順は左から右へ表示してあります。...

⑳ トップハンの成績(七夕賞)
18年メイショウカイドウ
19年サンバレンティン

⑳ トップハンの成績(七夕賞)
18年メイショウカイドウ
19年サンバレンティン

Table with columns for horse numbers, names, and odds for the 20R race.

⑳ トップハンの成績(七夕賞)
18年メイショウカイドウ
19年サンバレンティン

Table with columns for horse numbers, names, and odds for the 21R race.

⑳ トップハンの成績(七夕賞)
18年メイショウカイドウ
19年サンバレンティン

芝もダートもOKの種牡馬クロフネ(父フレンチデピュティ)が、中京のプロキオンSに初ダートのクラティスカイ(15年NHKマイルC勝ち馬)。

逆に、福島の七夕賞にはダート【56211】のオリオンザジャンパンを挑戦させる。芝は【0001】である。

競走時のクロフネは、京都と阪神の芝2000mを2歳コースレコードで、当時2000mの毎日杯は1分58秒6で独走。NHKマイルCは1分33秒0で差し切っている。

ダートは改修前の東京で、1600mを驚異の1分33秒3。2100mは2分05秒9。現在のレコードなど問題外の大記録だった。

種牡馬となっても、もう10年も連続して総合ランキング10位以内。芝でもダートでもGI種牡馬と比べて、やや印象が地味。自身と並ぶような大物を送り出していないからだろう。

### 編集長の爪

時計は速いがパワー馬場の週)に続いて先週(2回中京1週目)も高速馬場。「高速馬場」といっても他のコースの通常の馬場と同じぐらいの時計なのだが、とにかく普段の中京とは時計の出方が異なっていた。CBC賞の勝ちタイムは1分7秒2。勝ったレッドファルクスはそれまで中京芝2戦2勝だ



大川浩史

11R 3 連複	
上位1/4~25%	
81016	26.5
71016	35.2
7810	37.4
4816	39.8
41016	39.9
91016	46.4
4810	47.4
7816	47.7
4716	47.9
8910	50.6
4710	52.8
478	54.7
7910	60.5
6816	65.0
4916	66.9
61016	70.8
678	71.2
6810	74.2
8916	75.9
6710	76.1
789	77.6
468	82.1
4910	86.8
6716	87.6
7916	88.0

だが、千四一分二秒9と千二分10秒9。他のコースの芝では勝ったことがなく、ダートで4勝。いくら中京でも「高速馬場」では厳しいかと思っただが、あっさり勝った。

おそらく、時計は出るがパワー型が有利なことに変わりは無い馬場なのだろう。ならばハービンジャー産駒は依然として狙い目で、エトランドル(中京10R)は昇級戦のことが狙い。自身の上がり速い時は着順が良くない馬で、徹底先行ヤマカクライデンがいる中京二なら持ち前のスタミナを生かせる。

現在18歳。ここ数年のうちに「さすろクロフネ」と、改めて並み外れた能力を思い起こさせる逸材を輩出した。また、芝でもダートでも次々に重賞勝ち馬となるような、総合力あふれる産駒を送る種牡馬であることとを、知らしめたい。

いきなり58キロで、初ダートが1400mのクラティスカイだが、母方も典型的なアメリカの快速血統。ルメール、マカヒキの友道厩舎。クロフネは初ダートの武蔵野S1600mを前出の時計で、9馬身差の馬なり独走だった。

一方のオリオンザジャンパンは14年の彦星賞(当時ダート1700m)を猛然と差し切って頭角を現した。小回りコースはむしろ合う追い込み馬。

前々走、格上がりの初OPで、初の芝。とてもムリだろうと思われたが(単勝84倍、後方追走から上がり33秒3は断然No.1だった。1分46秒3はたまの時計ではない。

父と同じ声毛。53キロ。おそらく平坦に近い福島はベストに近いはずだ。騙馬となったからには走り続けるしかない。(柏木)

競走時のクロフネは、京都と阪神の芝2000mを2歳コースレコードで、当時2000mの毎日杯は1分58秒6で独走。NHKマイルCは1分33秒0で差し切っている。

ダートは改修前の東京で、1600mを驚異の1分33秒3。2100mは2分05秒9。現在のレコードなど問題外の大記録だった。

種牡馬となっても、もう10年も連続して総合ランキング10位以内。芝でもダートでもGI種牡馬と比べて、やや印象が地味。自身と並ぶような大物を送り出していないからだろう。

競馬の力関係に、状態と展開のスパイスを加えて、隠し味に斤量差。おいしく調理できれば高配当ゲット!

GI好走馬も含め、好メンバーがそろった鳴尾記念で、ようやく復調気配を見せてきた6番マジステイハーツの復活。

道中は行きたがるのをなだめながら追走。そのまま手ごたえ十分に直線を迎えましたが、内から追い出し。全力とは思えない末脚でしたが、コンマ3秒差まで詰めてきました。

3歳時は神戸新聞杯、4歳時に新潟大賞典、5歳時には鳴尾記念と関屋記念と、ここまで重賞で2着4回の実績馬。直前の調教の動きも良く、ここで悲願の重賞制覇。

11R 3 連単	
上位1/4~25%	
1087	101.2
8167	104.2
6710	109.4
16109	119.1
1684	138.9
7138	151.1
8164	159.8
16810	167.8
10169	168.7
10164	172.9
81610	174.2
16104	176.2
16108	176.5
16107	182.2
1687	185.5
1648	187.8
81016	188.2
10167	189.8
16410	195.9
71016	201.9
10168	201.9
8107	204.7
7810	205.6
10816	207.4
4816	213.8

父と同じ声毛。53キロ。おそらく平坦に近い福島はベストに近いはずだ。騙馬となったからには走り続けるしかない。(柏木)

競馬の力関係に、状態と展開のスパイスを加えて、隠し味に斤量差。おいしく調理できれば高配当ゲット!

GI好走馬も含め、好メンバーがそろった鳴尾記念で、ようやく復調気配を見せてきた6番マジステイハーツの復活。

道中は行きたがるのをなだめながら追走。そのまま手ごたえ十分に直線を迎えましたが、内から追い出し。全力とは思えない末脚でしたが、コンマ3秒差まで詰めてきました。

3歳時は神戸新聞杯、4歳時に新潟大賞典、5歳時には鳴尾記念と関屋記念と、ここまで重賞で2着4回の実績馬。直前の調教の動きも良く、ここで悲願の重賞制覇。

競馬の力関係に、状態と展開のスパイスを加えて、隠し味に斤量差。おいしく調理できれば高配当ゲット!

GI好走馬も含め、好メンバーがそろった鳴尾記念で、ようやく復調気配を見せてきた6番マジステイハーツの復活。

道中は行きたがるのをなだめながら追走。そのまま手ごたえ十分に直線を迎えましたが、内から追い出し。全力とは思えない末脚でしたが、コンマ3秒差まで詰めてきました。

3歳時は神戸新聞杯、4歳時に新潟大賞典、5歳時には鳴尾記念と関屋記念と、ここまで重賞で2着4回の実績馬。直前の調教の動きも良く、ここで悲願の重賞制覇。

### 競馬人情 吉良

七ツの日の夜、「金沢市のキクタと申します。父が何十年も年賀状のおつきあいを見せていただきました」と男の声で電話がかかってきた。「あと10日で米寿になるころだったのですが、7月2日に息を引きとり、5日に葬儀を済ませました。」

いえ、その報告ではないのです。最期の数日前、何度も、スズバレード、イイザカ、おでんや、ヨシカワさんと言いまして、ほんと、それを、けっこうはつきりとした声で「昔の或る日がおみがかえったんですね。お父さんとは福島で会ったとき、手紙のやりとりだけ。」



小木曾大祐

OPに昇級後4連対を果たしているが、いずれも馬場状態は稍重〜重。前走は乾いた馬場も影響したか。昨秋から今年のフェブラリースにかけ、ダートのチャンピオン級を相手に見せ場を作ってきた実績はここでは上位。幸いにも土曜はかなり雨が降る予報、天も味方した。

「成績欄にチークPも表記」  
今までのB(フリッカー)に加え、レースでのC(チークビーズ)着用も表記します。成績欄の最下段、1着馬名の前に「四角の白抜き文字」でCと表示します。なお、今回のB着用は今まで通りの表記、チークビーズに関しては事前の公式発表はありません。

ペンフレンドでした」と私が言った。電話を切ったあと、私の記録ノートをひらいた。(1984年11月17日、金沢の菊田氏と飯坂温泉の池田屋の風呂場で会い、屋台のおでんや三平に行き、翌日の福島競馬場へも一緒にいった。福島記念の日で、田村正光が乗ったスズバレードが1着。菊田氏は奥さんの実家が福島。いちど、福島競馬場へ来てみたかったと)息子さん、よく電話をくれたなあ。菊田氏への合掌のつもりで、コップに半分、酒を注いだ。七夕賞は8歳ダートコース狙い。小牧、やっくれ、馬単④⑧④⑨④⑩。プロキオンSはキングズガルドが強い。馬単⑨④⑨④⑩。

競馬の力関係に、状態と展開のスパイスを加えて、隠し味に斤量差。おいしく調理できれば高配当ゲット!

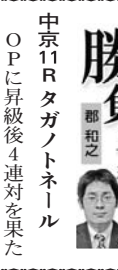
GI好走馬も含め、好メンバーがそろった鳴尾記念で、ようやく復調気配を見せてきた6番マジステイハーツの復活。

道中は行きたがるのをなだめながら追走。そのまま手ごたえ十分に直線を迎えましたが、内から追い出し。全力とは思えない末脚でしたが、コンマ3秒差まで詰めてきました。

3歳時は神戸新聞杯、4歳時に新潟大賞典、5歳時には鳴尾記念と関屋記念と、ここまで重賞で2着4回の実績馬。直前の調教の動きも良く、ここで悲願の重賞制覇。

### 勝負の一手

OPに昇級後4連対を果たしているが、いずれも馬場状態は稍重〜重。前走は乾いた馬場も影響したか。昨秋から今年のフェブラリースにかけ、ダートのチャンピオン級を相手に見せ場を作ってきた実績はここでは上位。幸いにも土曜はかなり雨が降る予報、天も味方した。



郡和之